

住まいるカレッジ 月別ラッキー風水 (5月度)

五月で差がつく金運アップ法

ゴールデンウィークで旅行やレジャーでお金をたくさん使ってしまったという方も多いのでは？5月は「金運アップ法」についてのお話です。では、早速八つの法則をご紹介します。

金運アップのための八つの法則



<法則1>

お金は暗いところが好きですから、通帳や印鑑、キャッシュカードなどは暗い場所に置くことが基本です。寝室の北側、箆笥の引き出しの中に置くのが理想的です。

金運アップ術 (寝室)

- ①北にある本棚や箆笥の中に通帳や印鑑、カードなどお金に関係のあるものを置きます。
- ②東北には「白いもの」を置きましょう。四角くて高さのある本棚や箆笥が理想ですが、家具を置けないならば、雪山のポスターを飾り、白いシャツをハンガーに吊るしておきましょう。
- ③東南には観葉植物を置きましょう (大小は問いません)。
- ④リッチになれる“気”は、午後11時～午前4時ごろに養われます。寝ている時間帯なので、金運アップには「寝る位置」が大きく影響します。
ベットや布団は部屋の中央に、枕は「北枕」にします。中央が無理なら西か北側で寝て下さい。
- ⑤西にはドレッサーやデスクを置き、毎日西を向くようにしましょう。上に黄色いものを載せるとさらに効果がアップします。



<法則2>

西に黄色いカラーのものを飾ります。
黄色いものといえば、黄色い花や黄色い果物、たとえばグレープフルーツやバナナなどがそうです。絵やオブジェでも黄色いものを選びます。基本的にインテリアや小物でも黄色いカラーが使われていればかまいませんが、できるだけ全体の50%以上が黄色で占められているものを選んで下さい。色調は、淡いレモン色に近いものよりも、山吹色、黄金色など濃いものにすることがポイントです。



<法則3>

食事で金運アップする方法。金運をアップさせるには、牛肉や鶏肉が効果があります。



鶏の水炊きやすき焼き、しゃぶしゃぶなどが金運に良いメニューです。



また、色でいうなら「黄色の食べ物」が金運を呼びます。油揚げの入ったきつねうどんやきつねそば、焼くところがり黄金色になる焼き魚、卵焼き、カレーライスが金運アップ料理です。

<法則4>

お金の居場所である「財布自体に運氣があるかどうか」も金運アップには大切です。私たちにとって家と同じくらいお金にとっても財布は大切なものです。財布は“吉方位”で買ってきたものを使います。自分自身が吉方位に行けなくても、金運をもった人があなたの吉方位に旅行に行った時に買ってきてもらうのも方法です。



一般的に、男性なら黒か茶、女性なら黒、茶、赤、紺のものが良いでしょう。財布はだいたい千日が寿命です。古いすり切れた財布を、「愛着があるから」といつまでも使っていてはお金には好かれません。心当たりのある方は早速お考え下さい。

<法則5>

金色のアクセサリーを身につけましょう。
“キラッ”と光るものがベストです。



<法則6>

時計は「文字盤が丸いもの」にします。丸は金運を呼ぶかたちです。丸いもの身につけるとお金が集まってくるのです。



<法則7>

『早起きは三文の得』とありますが、これは本当です。早起きして、朝日を存分に浴びてください。太陽が金運をもたらしてくれます。

さらに朝、大きな音をたてると金運が寄ってきます。目覚まし時計の音を大きくしたり、近所迷惑にならない程度に朝からボリュームを上げて音楽を聞くこともお奨めです。

朝の挨拶も大きな声でする習慣をつけましょう。こうした意味からも、朝ごはんを家族で食べるのは良いことです。

一人で食べると、話のしようもありませんが、家族となら会話も弾み元気になれます。



<法則8>

“吉方位”に行って金運を上げます。これは最も効果があります。金運のつく方位は「西、北西、東北」。自分自身の吉方位を見て、より長くより遠くに行くことがより効果を上げるコツです。金運アップする上の八つの法則は、どれも簡単に実行できることばかりです。ぜひ行動に移してください。逆に、お金に好かれるために絶対してはならないこともあります。それは「お金がない」ということを頻繁に口にすることです。この言葉はタブーです。必ず守ってください。



格言：「縁は円を生み、円は縁を広げる」

これは風水の考えです。仕事には人間関係がとても大切で、縁の広い人はお金儲けをするチャンスに恵まれる機会が多くなります。つまり、人間関係はお金という円を生みますが、逆に円というお金を使って、人間関係の縁を広げることも可能です。あなたはどちらに自信がありますか？両方あるなら人生の成功間違いなし。でも、普通は一方が強く、もう一方が弱いもの。自分の強い方を使って「エン」を求めるのが風水です。

端午の節句、菖蒲の節句、子供の日

この日は、男の子がスクスク育つように、鯉のぼりや吹き流しを飾ります。吹き流しの色は五色ときちんと決まっています。何色かご存知ですか？それは、「青、赤、黄、白、黒」の五色です。これは『五行』という思想に由来するもの。『五行』では、「宇宙のすべては木、火、土、金、水の五元素で表される」というのですが、それぞれにカラーが当てはめられ、すなわちそれが「木＝青、火＝赤、土＝黄、金＝白、水＝黒」の五色なのです。

この考え方はとても大切。色まで覚える必要はありませんが、木と火、土、金、水からすべて成り立っているということは頭の片隅においてください。五色の吹流しは、幼子の無事な成長を願って「魔よけ」の意味で飾られました。カラカラと回る矢車も同様な意味をもっています。吹流しは家を象徴しているとも考えられます。



住まいるカレッジ 麻生真琴
ご質問・お問合せはこちらへ

住まいるカレッジ友の会事務局 大阪府堺市堺区錦綾町3丁8-1-807
TEL：072-226-1655
FAX：072-232-8723
ホームページ：http://www.smilecollege.jp/